

令和6年度周南市こども育成支援対策審議会(第7期第7回)会議録

日 時	令和 7 年 3 月 6 日 (木) 15 時 00 分～16 時 00 分
場 所	周南市徳山保健センター 3 階 健康増進室 1
議 事	議題 1. 周南市こども計画について 2. 特定教育・保育施設の利用定員の変更について
出席者	● 委員 14 名 ※会議成立（全員出席） 竹下会長、兼重副会長、金子委員、木村委員、田中委員、秋重委員、大嶋委員、河村委員、大野委員、加村委員、小林委員、山本委員、合田委員、溝渕委員 ● 事務局 14 名 こども未来部 福谷部長 あんしん子育て推進課：柿並課長、宮崎主幹、国廣課長補佐、柏村課長補佐、高木係長 子育て給付課：浴井課長 こども保育課：林課長（こども未来部次長）、清水課長補佐、松村課長補佐、長尾係長 生涯学習課：上野課長 学校教育課：稲垣課長、有福主幹 ● 業務受託事業者：一般財団法人山口経済研究所、株式会社サーベイリサーチセンター ● 傍聴者 1 名

議題 1. 周南市こども計画について	
資料 1	周南市こども計画
資料 2	周南市こども計画概要版（こどもパブコメ実施用） その他配布資料 新旧対照表（周南市こども計画 素案 Ver2→Ver3→Ver4） 周南市こども計画(素案)に対するパブリック・コメントの実施結果について(案)
◎会長	議題の件について、事務局から説明をお願いします。
□事務局	<u>あんしん子育て推進課</u> 資料に基づき、こども計画及びパブリック・コメント（こどもパブコメ含む）結果について説明。

○委員	短期間でこども計画を策定いただき感謝する。ご説明いただいたこどもパブコメの結果については、意見の内容が非常に興味深く、回答数も多かったということで、こどもたちが市の取組に興味を持っているということが良く分かった。 計画が冊子として出来上がるのを楽しみにしている。
○委員	こども計画の策定自体が努力義務である中で、周南市が一早く策定に向けて動いたことに加えて、計画策定のスタンスとして、当事者である若者に審議会の委員として参画してもらったり、こどもパブコメで意見を聴いたりするなど、こども・若者の声を取り入れて施策を展開するという思いが非常に伝わってきた。まずはその点に感服し、感謝を申し上げたい。 感想としては、こどもパブコメを通じて、周南市のこどもたちが、まちの将来やこれからの子育て施策等について自分ごととして捉えた上で、しっかりとした意見を届けており、今後の施策展開の参考になると感じた。 2点質問がある。1つは、こども計画としては初めてのパブリック・コメント実施であるが、他の計画、例えば子ども・子育て支援事業計画等の策定時と比べて、意見の数としては一般的だったのかということ、もう1つは、パブリック・コメントへの市の対応に関してどのようにフィードバックするのかということ、以上の件について教えていただきたい。
□事務局	あんしん子育て推進課 パブリック・コメントの実施結果については、市民の皆さんからの意見に市の考え方を記載したものを、ホームページ上で公表することになっている。時期としては3月末頃を予定している。 意見の数については、多い時も全く出されない時もある。今回は2名・14件であったが、内容について触れた意見が少なかったことから、周知方法等については課題と認識している。
○委員	こどもパブコメにおいて、子育て等の相談窓口がどこにあるのか等、市が展開している様々なサービスに関する情報を得たいという希望が寄せられていたとの説明であった。現在、一般の市民すなわち大人向けの情報発信はホームページ等色々な形で実施されていると思うが、将来子育てを担うこどもたちに対して、できるだけ分かりやすく情報を届けるような機会は、市として何らかの形で設けているのか。
□事務局	あんしん子育て推進課 相談窓口等の情報は、リーフレットを毎年作成して小中学校に配布

	し、こどもや保護者向けに発信している。他にも、こども新聞を通じた発信が行われているものの、全体としては保護者向けの発信が多いと考えているので、こども向けの分かりやすい発信については、今後の工夫点として考えていきたい。
○委員	こどもの声を直接吸い上げていく機会が乏しい中で、こどもパブコメでは430件もの貴重な意見があったという点は、我々委員としても真摯に受け止めた上で、市の取組がどのように進められているのかという点を、委員自身も伝えていく役割を担っていると感じた。 一方で、将来的に子育てをしていく上での、こども目線での不安も確認できたので、そういった点を我々も強く認識したいと思う。
○委員	こどもパブコメの資料にフリガナを振っており、こどもたちにとって読みやすいと感じたほか、こども計画からは、こどもを中心に据えた施策を展開するとのスタンスが伝わってきた。また、パブリック・コメントへのフィードバックに関しては、市の考えも含めてホームページで公表するとのことで、意見を提出した市民の理解が得られると考える。
○委員	短期間でより良い計画を策定しようと市が一生懸命取り組んだことに感謝する。 1点質問がある。計画の中に出てくる語句の一部について、資料編で説明を行っている点は、特に福祉の分野の専門用語が難しいため、ありがたいと思うが、説明の対象にした語句はどのように選定したのか。例えば、「アウトリーチ支援」という言葉には下線を引いて説明も行っているが、単に「アウトリーチ」としか記載していない箇所には下線がない。何らかの選定基準を設けたのか。
□事務局	<u>あんしん子育て推進課</u> 選定基準のようなものは特に設けておらず、語句を一つずつ見直ししながら、我々が普段当たり前のように使っている用語が市民に理解できるのかという視点で選別した上で、事業の内容等が分かりやすくなるような説明文を、国や専門機関等が用いている表現も参考にしながら掲載した。
○委員	今後、計画がスタートした段階で、市民からこの用語が分からないといった問い合わせが来るかもしれない。特に、こどもの目線で考えるというスタンスも踏まえると、実際に運用が始まった段階では、用語の説明が必要になる可能性もあると感じた。
○委員	こどもパブコメの資料にある小中学生向けアンケート結果のうち、「あなたはどのようなまちであれば住みたいですか」との質問の「そ

	の他」の回答が3.5%であるが、具体的にどのような内容だったのか。
□事務局	あんしん子育て推進課 「その他」については、具体的な内容を自由回答という形で答えてもらっているが、資料には掲載していない。皆さんの貴重なご意見は大いに参考としながら計画の実行に取り組んで行きたい。
○委員	近年、保育人材の不足が課題となっており、短大や専門学校等の保育士養成施設の閉校・募集停止も相次いでいる。保育の担い手の確保は、こどもの豊かな育ちを支えていく観点から、どの自治体でも大きなテーマになっていると思う。幼少期には保育士になりたいと思っても、小・中・高の間でこどもに関わったり保育の現場に触れたりする機会がなくなり、結果として、こうした目標を描いていた若者たちが別の道に進むケースが多いと感じる。保育の魅力をこどもたちに伝えたり、体験してもらったりするといった取組を、細く長くでも良いので続けていくことも必要と考える。
◎会長	こども計画について、説明があった事務局案の通りで異議がないか確認したい。 ～委員一同異議なし～ 異議なしと認める。 市長から諮問があった周南市こども計画策定については、これまでの審議の中で委員の皆様からいただいた意見を付した上で、事務局案の通りで異議なしとの内容で、答申案を作成していきたい。答申案は事務局から委員の皆様配布するので、意見等がある場合は事務局まで連絡いただきたい。この件についても異議はないか。 ～委員一同異議なし～ 本件了承されたということで、次の議題に移る。
議題2. 特定教育・保育施設の利用定員の変更について	
資料3 特定教育・保育施設の利用定員の変更について	
◎会長	議題の件について、事務局から説明をお願いします。
□事務局	こども保育課 資料3に基づき、特定教育・保育施設の利用定員の変更について説明。
○委員	質問・意見なし
□事務局	あんしん子育て推進課 こども計画策定については熱心なご審議をいただき感謝する。事務局案についてご承認いただいたので、今後は印刷を行い、完成は3月末を予定しているので、4月以降、委員の皆様にお届けする。なお、そ

	の際にはパブリック・コメントの結果について、こどもパブコメも含めてお送りする。なお、こども計画はホームページでも公表する。計画策定は今年度で終了となるが、これから計画を実行に移す大事な時期になるので、今後ともご協力をお願いしたい。
◎会長	他に意見がなければ、本日の審議を終了する。